



～ 夢ひとすじに ～

# 宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 28 年度 第 7 号  
平成 28 年 11 月 1 日 (火) 発行  
さいたま市立宮原中学校  
メールアドレス

[miyahara-j@saitama-city.ed.jp](mailto:miyahara-j@saitama-city.ed.jp)

ホームページアドレス

<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「精一杯の汗と涙は、君の強さに変わる時がくる」

こばやし ひろ とし  
校長 小林 広利

「信じる」「虹」「ひとつの朝」「青葉の歌」「そのひとがうたうとき」「はじまり」「決意」「In Terra Pax」「モルダウ」。これは、10月28日(金)に市民会館おおみやで行われた「平成28年度宮原中学校合唱コンクール」にて、3年生の各クラスが歌った合唱曲です。3年生の最優秀賞は、3年9組「モルダウ」が受賞。2年生の最優秀賞は、2クラス。2年4組「COSMOS」、2年7組「HE IWAの鐘」。1年生の最優秀賞は、1年2組「ぼくらの世界」が受賞しました。最優秀賞、優秀賞を受賞したクラスの皆さん、おめでとうございます。

また、指揮者賞を受賞した、3年1組 山本綾乃 さん、3年7組 師田めぐみ さん、2年9組 坪井真奈美 さん、1年1組 富谷航大 さん、伴奏者賞を受賞した、3年1組 西田梨花 さん、3年8組 山崎海和 さん、2年7組 西本裕矢 さん、1年7組 嶋村未都 さん、おめでとうございます。



まとまりを感じた 各学年の学年合唱

残念ながら、受賞まで至らなかったクラスもありますが、どのクラスも大きな差のない素晴らしい歌声だったと思います。各クラスとも、はじめからうまく練習が進んだわけではなかったはずですが、それでも話し合いを重ね、協力し、練習を続けてきた結果、聴く人を感動させる歌声がどのクラスも出来上がっていました。受賞した・しないにかかわらず、合唱のクラスリーダーは和を創る努力をし、指揮者・伴奏者は個々にもたくさん練習して本番を迎え、そしてクラス全員が協力して練習した過程があって、伝統を引き継ぐ素晴らしい合唱コンクールになったのだと思います。皆で協力して合唱コンクールを成功にさせることができたことに、皆さんは自信と誇りをもってください。

2学期には、合唱部、吹奏楽部の大きなコンクールもありました。合唱部は、9月4日(日)に大宮ソニックシティ大ホールで行われた「第83回NHK学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール」に出場して、銀賞を受賞しました。その様子はNHKが9月24日にテレビ放送をしたところです。吹奏楽部は、10月29日(土)に東京の文京シビックホールで行われた「第22回日本管楽合奏コンテスト」に出場し、最優秀賞を受賞しました。日本全国の生徒たちと競い合い、学び合って実力を高めたことはもちろん、全国にさいたま市立宮原中学校の名をとどろかせてくれました。

また、10月20日(木)には、さいたま市中学校駅伝競走大会が、荒川総合運動公園で開催され、女子は、1区 上田祥子 さん、2区 相澤ゆきの さん、3区 森戸穂乃花 さん、4区 森戸菜桜華 さん、5区 柳川愛絵 さんが、男子は、1区 久野拓実 さん、2区 廣門真太郎 さん、3区 大崎 元 さん、4区 古屋幸誠 さん、5区 関根駿太 さん、6区 杉島 匠 さんが、力いっぱい走り抜いてくれました。当日は、この時期にしては暑い一日でしたが、宮原中のゼッケンを背負い、タスキをつないでくれました。男子11位、女子14位という成績は、上位に食い込む素晴らしい成績だと思います。

宮原中学校の生徒の皆さんは、今、勢いがあります。優しさがあります。そして、全員で協力して何かを成し遂げようとする力に満ち溢れています。「精一杯の汗と涙 流した数だけきっと君が生きていく強さに 変わる時が来るから」合唱コンクール3学年の学年合唱「時を超えて」の歌詞の一部です。結果だけではなく、夢や目標に近づくために精一杯努力したとき、頑張った自分がそこにいたことには間違いありません。自分に自信と誇りを持ちましょう。そして、小さな一歩をさらに踏み出して挑戦を続け、宮原中学校の良き伝統をタスキにつなぐとともに、自分を成長させていきましょう。